

# 2023 年度 海外の文化財維持・修復事業助成 募集要項



公益財団法人 住友財団  
The Sumitomo Foundation

人類共通の財産である文化財（海外に所在するもの）を後世に継承するため、その維持・修復事業に対して下記のとおり助成を行います。

## 助成の対象

### 1. 事業の内容

- (1) 海外に所在する、芸術的、学術的に価値のある、後世に継承すべき  
①美術工芸品及び②遺跡  
の維持・修復事業
- (2) 上記の維持・修復のための事前調査（維持・修復に直接つながるもの）

(注)

- ・建物等構築物の一部を構成する壁画や彫刻等は上記①美術工芸品に含みます。
- ・遺跡については、遺跡の一部を構成する、または出土した資料の維持・修復事業または事前調査に限ります。遺跡全体の維持・修復事業や事前調査は対象外となりますのでご注意ください。
- ・電子保存事業は対象外となります。

### 2. 申請者の資格

維持・修復を必要とする上記文化財の所有者・管理者(注)またはそれら文化財の維持・修復のための事前調査を実行する研究者

- (注)
- ①営利を目的とする法人
  - ②営利目的あるいは私的鑑賞を目的に文化財を所有または管理する個人は、原則対象外とします。

### 3. 助成対象となる費用

助成対象事業に直接必要な経費

事前調査の場合は、調査に直接必要な経費のうち「助成対象費用費目一覧表」（3ページ）に該当するものが対象となります。

尚、2022年度の助成対象は、本要項の「対象一覧」（4ページ）ならびに当財団のホームページをご覧ください。

## 助成の内容

### 1. 助成金

- (1) 助成金総額 3,500万円
- (2) 助成件数の目処 15件程度

### 2. 助成期間

原則として1年間（2024年3月～2025年3月）

### 3. 助成対象者の義務

- (1) 「同意書」を提出して頂き、助成期間満了後に所定の「事業報告書」、「会計報告書」及び修復実施者の「修理報告書」（写し）を提出して頂きます。

- (2) 美術工芸品及び遺跡の維持・修復事業が「住友財団の助成を受けて実施された」ことを公表して頂きます。
- (3) 事前調査の成果は論文・出版物等で発表することとし、発表する際には、当財団の助成金の交付を受けて行った調査であることを記載し、その写し1部を当財団宛ご提出頂きます。
- (4) 当財団からの助成金受領について助成対象者の属する国等の許認可が必要な場合は、助成対象者にその手続きをおとり頂きます。

## 選考方法

1. 学識経験者で構成された当財団の選考委員会において選考のうえ、2024年3月開催予定の理事会にて決定し、直ちに採否をEメールで各申請者に連絡致します。
2. 採否の理由に関するご照会には回答致しかねますのでご了承下さい。

## 応募手続

オンライン（インターネット）を通じた申請となります。

住友財団のホームページ (<http://www.sumitomo.or.jp/>) の海外の文化財維持・修復助成事業の「応募ページ」からアクセスし、「応募手順及び申請書記入要領」に従って応募を進めてください。

### 1. 主な申請書類

- ①申請書（当財団所定様式による）
- ②推薦書（事業対象に関する学識経験者によるもので、かつ申請者が属する機関・団体以外の第三者であることを要件とします）
- ③事業対象物の現況デジタル画像

#### <注意事項>

- 申請書及び推薦書は日本語または英語にてご記入下さい。
- 申請金額は円建または米国ドル建とし、採択の際は申請された通貨で助成します。
- ご送付頂いた申請書等は返却致しません。
- 申請書を受付後、翌営業日までにEメールで受付番号をお知らせします。  
不着の場合は直ちにご照会下さい。

【個人情報の取扱いについて】 申請書にご記入頂いた個人情報は、選考及び選考結果のご通知のために使用致します。助成が決定した場合は、申請書にご記入頂いた助成対象者のお名前、所属、職位及び助成対象事業名と助成金額を公表致します。

### 2. 応募締切日

2023年11月30日 必着

### 3. お問い合わせ先

〒105-0012 東京都港区芝大門 1-12-16 住友芝大門ビル 2号館

**公益財団法人 住友財団**

TEL 03-5473-0161 FAX 03-5473-8471

E-mail [kaigai.bunkazai@sumitomo.or.jp](mailto:kaigai.bunkazai@sumitomo.or.jp)

URL <http://www.sumitomo.or.jp/>

## 助成対象費用費目一覧表

(事前調査の場合はこの費目により記入して下さい)

費 目	説 明
交通費 (* )	出張その他の移動に伴う交通費
宿泊費	出張その他の移動に伴う宿泊費
通信費・運搬費	通信費 (例：電話料、郵便料) 及び運搬費 (例：クーリエ料)
物品賃借料(**) 機械・器具・備品賃借料 資料賃借料	機械・器具・備品の賃借料 (ハードウェアのリース料・レンタル料、ソフトウェアの使用料、データ処理料その他のコンピュータ関連費を含みます。) 資料 (例：図書、データ・ベース) の賃借料
物品購入費(**) 消耗品及び機械・器具・備品購入費 資料購入費	消耗品及び特定用途の機械・器具・備品 (例：一般文具、ファクシミリ用紙、複写用紙、特注品) の購入費 資料 (例：図書、データ・ベース) の購入費
報酬 研究協力者謝金 研究補助者謝金 その他の報酬	申請者及び共同研究者以外の第三者の協力・助言に対する謝金 補助的作業に従事する臨時雇の第三者に対する謝金 事前調査の実行に当りその本質的部分以外の部分を第三者に委託した場合において当該第三者が提供した役務に対する報酬 (例：通訳料、翻訳料、速記料、アンケート調査の遂行・集計作業の委託料)
印刷費・出版費	印刷費 (複写作業の委託料を含みます。) 及び事前調査成果公表のための出版費
会議費	会議の際の会場費、茶菓代及び弁当代
その他の経費	研究集会参加費その他の経費 (具体的に記述して下さい。)

(\* ) 海外交通費は最短の往復ルートをエコノミークラスで直行する交通費実費 (見込額) とします。

(\*\*) 当該物品の保守管理費を含みます。

### 尚、下記の費用は対象外とします。

- ・ 申請者本人及び共同研究者の人件費
- ・ 汎用性のある機器の購入
- ・ 組織等の一般管理費

2022年度 「海外の文化財維持・修復事業助成」 助成対象一覧

(単位：万円、米ドル)

地域	所在国	NO	事業名	申請者	助成金額
米州	アメリカ合衆国	1	岳翁蔵丘筆「山水図」の修復	スミソニアン協会フリーア美術館	\$24,000
		2	考古学的絵画の修復	ペンシルベニア大学考古学人類学博物館	\$14,500
		3	「巖島・日吉・山王祭礼図屏風」の修復 継続	ポートランド美術館	\$22,700
		4	小圃千浦筆「北風、ポイントロボス」の修復	モントレイ美術館	\$18,059
		5	「紺紙金銀字交書一切経」(中尊寺経)三巻の修復	ロチェスター大学記念美術館	\$17,500
欧州	イギリス	6	「住吉物語絵巻」の修復	オックスフォード大学ボドリアン図書館	399
	スイス	7	「祇園祭礼図屏風」の修復 継続	リートベルク美術館	466
	ドイツ	8	「十一面観音菩薩像」の修復 継続	ケルン東洋美術館	263
	ポーランド	9	「阿弥陀如来像」の修復	ポズナン国立博物館	320
		10	「押絵漆箱」の修復	ヤン三世王宮美術館	149
アジア・中東・アフリカ	ウズベキスタン	11	ザールテパ遺跡出土壁画の保存修復 継続	名古屋大学	150
	エジプト	12	イドゥートの地下埋葬室壁画の修復 継続	関西大学	269
	トルコ	13	カマン・カレホユック遺跡における遺構保存 継続	中近東文化センター附属アナトリア考古学研究所	200

合計 13件

合計：

{

2,216万円  
\$96,759